



# 篠小だより

～学ぶ つながる 篠原の子～

令和5年4月7日

4月号

〒222-0022 横浜市港北区篠原東三丁目2番1号 Tel.045-401-9532 fax045-431-9538

## 心機一転

校長 松久保 伸子

かわいい1年生を迎えて、令和5年度がスタートしました。昨年度旧図工室を改築して作った2つの新教室も稼働して、680人を超える子ども達が学ぶことになります。心機一転頑張っていきたいと思います。

新年度になり、篠原小学校では40分授業午前5時間、午後はスキルタイムと3年生以上の6時間授業の日課表に移行します。1月に保護者様にはお知らせしておりますが、いよいよ実施です。少し時間はかかるかと思いますが、子ども達と一緒に慣れていこうと思います。8時20分から朝の会が始まります。ご家庭では朝の会に遅れない時刻に家を出るようお声掛けをお願いします。また、下校時刻も5時間授業の日は13時55分、6時間授業の日は14時35分に変更するとすでにご連絡しております。令和4年度よりも少し早めに下校致しますので、ご確認ください。

さて昨今教職員は忙しすぎるため、必要数を確保することが難しくなっている、という報道をよく目にします。過労死ラインの時間外勤務月80時間を超えないように、働き方を改善していく必要に迫られています。本校の留守番電話受付が、17時30分開始、翌朝8時解除になっているのもこのことが関係しています。どうぞご理解くださいますようお願い致します。また介護や出産・育児、自身や家族の病気・けがなど誰にも起こりうる出来事が、当然教職員にも考えられます。すでにこれらの事由や制度による短時間勤務をしている教職員も多数おります。もともと学校では、子ども達を担任一人ではなく学年全体で見ているという体制を作っています。その一例としてチーム学年経営推進校としての取り組みがあり、高学年では一部教科担任制を実施しています。例えば6年A組の担任が理科を、B組担任が社会を、C組担任が図工を3クラスとも指導する、という体制です。このような指導方法によって学年全体の子ども達を知り、複数の目で見守るようにしています。今年度は学級数が増えた関係で教職員の加配を受けられたため、全学年に専科授業を導入することができました。一人の担任が一人で子ども達を指導するのではなく、複数の目で子どもの成長をみとることをさらに進めていきます。これは子ども達にとって良いことであると思います。いろいろな大人がいる事を経験できますし、いろいろな指導方法で学ぶことができます。教職員も事前準備をする教科が減るので、より深く教材研究をして子ども達に分かりやすい授業を届けることにつながります。いろいろな形の働き方をする教職員が、力を合わせてみんなで子ども達の成長を促していく、このスタイルで令和5年度の篠原小学校をスタートさせていきます。昨年度同様、保護者様・地域の皆様のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

旧5年2組が笹の根を取り除いて作った花壇です。

